



## ◆連携ニュース◆

患者支援センターの新設にあたって・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 2

## ◆ご案内◆

委員会・勉強会について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 3

## ◆新病院建設◆

内・外装工事、設備工事・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 4

## ◆認定看護師紹介◆

摂食・嚥下障害看護 認定看護師・・・・・・・・・・・・・・・・ P 5

## ◆今後の委員会・勉強会◆

6～7月のご案内・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 6

### 【患者支援センター 業務内容】

1. 地域の医療機関との連携に関すること
2. 入退院支援に関すること
3. 医療サービスの向上に関すること
4. がん相談支援に関すること
5. 医療福祉相談に関すること
6. 訪問看護に関すること
7. 医療情報の提供（カルテ開示）に関すること
8. その他（地域連携関連業務全般）

### 【受付時間】

平日 午前8時30分～午後7時  
土曜 午前9時～午後0時

電話 0568-76-1434  
FAX 0568-74-4516



## 患者支援センターの新設にあたって



患者支援センター長  
小島 英嗣

### ～ ご挨拶 ～

平素より当院との医療連携にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

2013年に「地域連携室」を設置し、地域完結型医療の推進と患者さんに寄り添う医療の提供に向けてスタッフ一同邁進してまいりましたが、支援体制のさらなる充実をはかるため、本年4月に「地域連携・医療相談室」「入退院支援室」「がん相談支援センター」を統合した「患者支援センター」を新設しました。

医療の高度化・複雑化やそれぞれの社会的背景などにより、患者さんやご家族の不安やお困りごとは多種多様化しています。これまで院内各部署に分かれていた相談窓口を当センターに一本化し、病院利用者の利便性の向上をはかるとともに、多岐にわたる相談内容にスムーズに対応できる体制にいたしました。

また、入退院支援の一環として、予定入院の患者さんに対し、入院前より栄養状態や褥瘡危険因子等の評価、服薬状況の確認、退院困難な要因の有無などの情報収集を行うことで、安全で質の高い医療の提供につなげる取り組みを開始しました。患者さんが退院後を見据えて安心して入院に臨んでいただけるよう、きめ細かく丁寧な支援に努めてまいります。

地域医療支援病院として、かねてより各医療機関との役割分担と連携強化を進めておりますが、先生方のご支援のもと、当院の紹介率・逆紹介率は年々向上しております。患者さんはもとより、医療ならびに介護サービス関係者の皆様方からも広く信頼を寄せていただけるような患者支援センターを目指してまいりますので、今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



▲左から、高津津由紀、今川美和、中島ひとみ、清水輝美

### 新たな仲間が増えました！

今年度より、4人の看護師が患者支援センターに配属されました。新たな仲間とともにより一層、地域医療連携を強化・推進していきますので、今後ともよろしくお願いいたします。

## 委員会・勉強会について

当院では、地域医療支援病院としての役割を果たすため、委員会や勉強会を定期的を開催しております。

### 小牧市民病院地域医療支援委員会

当院が地域のかかりつけ医、かかりつけ歯科医等からの要請に適切に対応し、地域における医療の確保が出来ているかを審議しています。委員として、近隣医師会及び小牧市歯科医師会の代表者、地域住民の代表者、市町村の代表者が参加しています。

### 地域連携意見交換会

地域の医療機関の医療従事者とのご意見を交換する場として年4回開催しております。地域医療連携に関する提案や疑問について意見交換を行っていますので、ぜひご参加ください。

### 地域連携登録医総会

“顔の見える関係づくり”を推進するため、年1回地域連携登録医の総会を開催しています。毎年、院内・院外を合わせて100人以上のご参加をいただいています。今年度は9月29日（土）に開催を予定しています。懇親会をメインにした総会を予定しておりますので、多くのご参加をお待ちしています。

### 地域の医療従事者向けの勉強会等

#### ・尾張臨床懇話会

当院の医師が最新の医療などをテーマに講演を行います。また、地域のかかりつけ医の先生方が希望される症例について、症例検討会を行っています。

#### ・医療・介護勉強会（小牧市在宅医療・介護連携サポートセンターと共催）

在宅における看護・介護を行ううえで気を付けるべきポイントなどについて講演を行います。

#### ・緩和ケア系統講義

患者さんとその家族の「からだのつらさ」、「こころのつらさ」を和らげるための緩和ケアについて、理解を深めるための講演会です。

#### ・医療安全研修

当院で定期的で開催している医療安全研修のうち、地域の医療機関の皆様役に役立ていただける研修をご案内します。

#### ・NST勉強会

患者さんに最良の栄養療法を提供するため、症例報告と講演などによる勉強会を開催しています。

## 内・外装工事、設備工事

当院では、2019年5月の新病院開院に向けて建設工事を進めています。現在は、新病院棟の内・外装仕上げ工事を行っています。

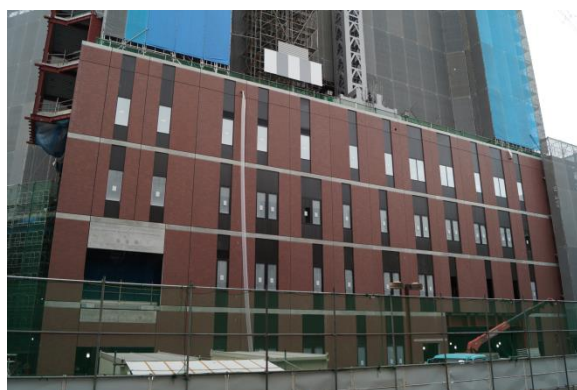
### 建設工事の進捗状況について

躯体工事はサービス棟の一部を除いて、ほぼ完了しています。

新病院棟は9階建てで、1階から4階まではレンガ調の外壁が施工されており、今後、5階から上の階層はアイボリーの外壁が施工される計画となっています。



▲ 4月ごろの写真



▲ 1階から4階部分の外壁



▲ 5階から9階部分（施工予定）

### 新病院棟にエスカレーターを設置



新病院棟の1階から3階までを繋ぐエスカレーターが設置されました。他の工程が終わるまでの間、シートで覆われており、その全容を見ることは出来ません。

このエスカレーターは、患者さんを診療科へ繋ぐ動線として、重要な役割を果たすこととなります。現病院では要望がありながら、スペースの関係上設置できなかった待望のエスカレーターです。



梅元 千晴

### 摂食・嚥下障害看護認定看護師

2011年度の報告より死亡原因、第3位が肺炎となりました。近年のデータからは、肺炎で亡くなる方の約95%が65歳以上の高齢者で占められ、高齢者の肺炎の大部分が誤嚥性肺炎であると報告されています。また、『誤嚥性肺炎』は、メディアでも多く取り上げられています。

摂食・嚥下は、食物の認知から始まり、捕食、咀嚼、嚥下、食道を通過し胃に至るまでの過程を指し、この過程の中での障害を嚥下障害といいます。脳血管疾患を患った患者は、中枢神経障害による嚥下障害を起こし誤嚥性肺炎を併発することが多くあります。しかし、高齢者は、嚥下関連筋群の筋力低下、口腔内の感覚の低下、義歯による問題など様々な要因により嚥下機能が低下し誤嚥性肺炎の要因となります。

高齢の入院患者は、入院中に嚥下機能が低下し誤嚥性肺炎を併発することがあります。患者を24時間看護している看護師は、早期に患者の嚥下機能の低下を察知することや、誤嚥性肺炎を早期に発見することは重要です。そのためには、嚥下障害を起こしているのか早期に評価を行い対応しなくてはなりません。摂食・嚥下障害看護認定看護師としては、病棟看護師が早期から対応できるよう看護師教育を行い、言語聴覚士と協力しながら患者の嚥下機能が改善し経口摂取に早期に移行できるよう嚥下リハビリを行っています。また、嚥下障害を起こしている患者は、経口摂取が困難なことから栄養障害や脱水を起こすことも多く、NST（栄養サポートチーム）とも連携しながら多職種で嚥下障害患者に対応を行っています。

『食事・栄養』は人間が生きていく上で重要です。そして、安全に食事をしていただくこともとても重要であり、地域との連携が不可欠です。様々な方が地域で安心して食事ができるようになることを願います。嚥下障害がある方への対応方法や嚥下訓練についてなどお気軽にご相談ください。

#### 当院所属の認定看護師（2018年5月1日現在）

当院では、日本看護協会が定める認定看護師21分野のうち18人が在籍しています。その内訳は次のとおりです。

- |               |             |                    |
|---------------|-------------|--------------------|
| ・緩和ケア 1人      | ・感染管理 2人    | ・皮膚・排泄ケア 3人        |
| ・がん化学療法看護 2人  | ・がん性疼痛看護 3人 | ・救急看護 1人           |
| ・摂食・嚥下障害看護 1人 | ・新生児集中ケア 1人 | ・脳卒中リハビリテーション看護 1人 |
| ・慢性呼吸器疾患看護 1人 | ・集中ケア 1人    | ・認知症 1人            |

## 6～7月のご案内

6月28日（木）

第215回尾張臨床懇話会

演題：当院の食物アレルギーに対する取り組み

講師：尾関 和芳（小児科医長）

場所：小牧市民病院 8階 大会議室

時間：午後2時～3時

7月5日（木）

NST勉強会

演題：当院の濃厚流動食と付加食

講師：澤 つかさ（管理栄養士）

場所：小牧市民病院 8階 大会議室

時間：午後5時15分～6時15分

7月12日（木）

緩和ケア系統講義

演題：事例から考える疼痛マネジメント

講師：小田切 拓也（緩和ケア科部長医師）

村路 留美子（がん性疼痛看護認定看護師）

近藤 綾子（薬剤師）

場所：小牧市民病院 8階 講堂

時間：午後6時～7時

7月24日（火）

医療・介護勉強会

演題：在宅酸素の基礎知識、急性増悪予防のためのセルフケア支援

講師：堀 英孝（慢性呼吸器疾患看護認定看護師）

場所：小牧市まなび創造館

時間：午後2時～3時30分

※この勉強会は小牧市在宅医療・介護連携サポートセンターとの共催です。

7月26日（木）

第12回小牧市民病院地域医療支援委員会・第12回地域医療意見交換会

場所：小牧市民病院 8階 講堂

時間：午後2時～3時

日時や場所、演題等は、変更することがあります。  
ご案内は開催の1ヶ月程度前に送付させていただきます。